

何が秘密か
それも秘密

秘密保護法は 廃止を!



廃案求めて水戸駅からデモ行進

12月市議会で江尻かな議員は「水戸市長も秘密保護法に反対を」と代表質問。高橋市長は「知る権利を侵害しないよう法の厳格な運用を求める」と答えました。

昨年の12月6日深夜、1万5000人もの人びとが国会前に駆けつけました。「廃案に!」「強行するな!」という声を無視し、安倍・自公政権は秘密保護法を強行可決。数の暴力で、憲法をふみにじる暴挙は絶対に許されません。

日本共産党は通常国会に秘密保護法廃止法案を提出します。法律施行を許さず、国民の知る権利を守りましょう。



日本共産党水戸 市議団ニュース

2014年2月 No.580 発行／日本共産党水戸市議団

2013年12月議会報告 ご意見やご要望をおよせください。ホームページ 日本共産党水戸市議団 検索 <http://jcpmito.d.dooo.jp/> 議員個人のホームページにアクセスできます

消費税増税とトリプルパンチ 家計は大変 値上げ中止を!



4月から
水道・下水道料金
総額6億円値上げ

!

家計は大変 値上げ中止を!



4人家族で
年間1万円値上げ

高橋市長は12月市議会に、水道料金の10.9%値上げと、下水道料金に消費税増税分3%を値上げする条例を提案しました。

江尻かな議員が代表質問にたち、「水道事業会計は毎年約5億円の黒字であり値上げの必要はない。水道施設の耐震化や老朽管改修は黒字分や一般会計の基金96億円を活用すべき。必要なない水を県から買う無駄づかいこそやめよ」と主張しました。

値上げ反対市民連絡会は11月に「くらしが大変。値上げは困る」と、2,841名の値上げ中止署名を市長に提出しました。

共産党は値上げに反対 それ以外の賛成で可決

値上げ条例に共産党は反対しましたが、自民、公明、民主、社民、みんな、無所属の議員が賛成し可決されました。

水道10.9%、下水道3%値上げの影響(試算)

	使用水量 (1ヶ月)	年間値上げ額
4人家族	30m ³	約1万円
飲食店	100m ³	約3万5000円
福祉施設	1000m ³	約50万円
ビジネスホテル	1500m ³	約70万円

来年度(2014年度) 予算要望書を提出



共産党水戸市議団は昨年11月21日、来年度予算に対し115項目の要望書を市長に提出しました。保育所増設や小・中学校での30人学級実施、図書館の民間委託中止などを要望。また、市民から寄せられた地域要望をもりこみ、くらし最優先の予算を求めました。

市民会館

県内最大2000人のホールが必要?

東日本大震災で被災した水戸市民会館の建て替えについて、高橋市長は水戸芸術館南側の旧京成デパート跡地に移転すると表明しました。

これまでの倍の2000人のホールのほか、展示室や会議室など全体で3000人の規模は県内最大となります。

駐車場は国道50号地下駐車場や周辺有料駐車場の利用を想定しています。

市民から「そんな大きなホールが必要なのか」「駐車場は大丈夫か」などいろいろな意見が出されています。

日本共産党は、市民の声を反映して建て替えをすすめるよう取り組みます。

江尻議員は代表質問で「 Chernobyl 原発事故の後、明らかに増えたとされるのは子どもの甲状腺がん。水戸市でも、甲状腺検査など被ばく検査を実施すべき」と求めました。市長は「国の動向を注視して対応を検討する」との答弁を繰り返しました。

江尻議員は代表質問で「 Chernobyl 原発事故の後、明らかに増えたとされるのは子どもの甲状腺がん。水戸市でも、甲状腺検査など被ばく検査を実施すべき」と求めました。市長は「国の動向を注視して対応を検討する」との答弁を繰り返しました。



塩川鉄也衆院議員らと経済産業省に原発廃炉を要請する江尻議員(左端)=11月25日

東海第2原発は廃炉に

水戸市は福島原発事故をうけ、学校や公園などで空間放射線量の測定を続けています。低い場所でも平均0.08マイクロシーベルトで事故前の約2倍です。国際基準値0.23マイクロシーベルトを下回っていますが心配はつきません。

子どもの被ばく検査を

江尻議員は代表質問で「 Chernobyl 原発事故の後、明らかに増えたとされるのは子どもの甲状腺がん。水戸市でも、甲状腺検査など被ばく検査を実施すべき」と求めました。市長は「国の動向を注視して対応を検討する」との答弁を繰り返しました。

江尻議員は代表質問で「 Chernobyl 原発事故の後、明らかに増えたとされるのは子どもの甲状腺がん。水戸市でも、甲状腺検査など被ばく検査を実施すべき」と求めました。市長は「国の動向を注視して対応を検討する」との答弁を繰り返しました。

江尻議員は代表質問で「 Chernobyl 原発事故の後、明らかに増えたとされるのは子どもの甲状腺がん。水戸市でも、甲状腺検査など被ばく検査を実施すべき」と求めました。市長は「国の動向を注視して対応を検討する」との答弁を繰り返しました。